

## 平成24年度 千葉県立図書館の運営状況の評価

### 1 総 評

総じて良好に運営され、運営改善に向けた努力がなされている。  
特に学校教育支援・家庭教育支援においては、絵本の読み聞かせ等の講師として、積極的に職員を派遣し、職員の持つ知識を広める努力がされていることや、市町村立図書館職員に対し、実践的で効果的な研修を実施していることを評価する。  
今後も、県民のニーズに応え、県立図書館の利用度を高めるよう、図書館事業の啓発・広報に努めるとともに、県内公共図書館、高等学校等図書室及び大学図書館等との連携を図りながら、県内図書館サービス全体の向上を図るよう努力されたい。

### 2 評価結果 (総括)

サービス目標の達成状況は、19項目のうち、数値目標を設定しない基本項目を除く15項目の自己評価は、AA評価が12項目、A評価が2項目、B評価が1項目となった。  
AA評価の「⑦研修会の参加者数」は、前年度の参加者のアンケートを基に市町村立図書館職員のニーズや課題に合った研修を実施したことにより参加者数が増加した。「⑫教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数」は、高等学校等で行う絵本の読み聞かせ講習会に職員を講師として派遣するなどして回数を増やした。また、「⑭調べ方案内(パスファインダー)の作成件数」は、県民の多様化・高度化する資料・情報要求に的確に応えられるよう、テーマ別にパスファインダーを作成・改訂し、レファレンスの効率化や活性化を図った。  
一方、B評価となった「⑩図書館ボランティアの育成者数」は、音訳ボランティアの養成講座の内容を、音訳資料のデジタル化など最新技術を使用する高度な内容の講座を行ったため参加者は少なかったが、音訳ボランティアの資質向上を図ることはできたと考えている。  
なお、基本項目の「④ホームページへのアクセス件数」が約17%減少したのは、システム更新に合わせ、平成24年度当初からアクセス件数のカウント方式を、アクセスカウンタから訪問者数に変更したことによるものである。  
平成24年度は、11月の新システム稼働により機能の追加・充実を図り、新サービス・業務の定着、改善を行ったところであり、また、来館利用者の動向や満足度を測る「⑨来館者満足度」は74.3%を達成したが、アンケート結果を分析し更なるサービス改善に努めていきたい。

| 区分                  | サービス評価指標            | 平成24年度達成目標 | 平成24年度達成状況                      | 自己評価 | 摘要  |
|---------------------|---------------------|------------|---------------------------------|------|---|
| 基本項目                | ① 資料受入冊数            |            | 21,902 冊<br>(平成23年度実績 27,648冊)  |      | これらは、図書館サービスを進める上で欠かすことのできない項目であるが、一方で厳しい財政状況に左右され、必ずしも右肩上がりの数値を示すものとはなり得ないことから、数値目標とはせず、他のサービス目標を達成する中で、結果として反映される基本項目とした。 |
|                     | ② 来館者数              |            | 467,662人<br>(平成23年度実績 481,782人) |      |   |
|                     | ③ レファレンス件数          |            | 29,714件<br>(平成23年度実績 31,781件)   |      |   |
|                     | ④ ホームページへのアクセス件数    |            | 441,505件<br>(平成23年度実績 534,602件) |      |   |
| 1 市町村立図書館充実のための支援強化 | ⑤ 県立図書館蔵書貸出冊数       | 93,900冊    | 90,226冊<br>( 96%)               | A    | ①相互協力担当者会議の開催、市町村立図書館等への訪問や運営相談を通じて県立所蔵資料の利用促進を図った。<br>②県立図書館の資料は図書館ネットワークにより最寄りの市町村立図書館等を通して利用できることを積極的に広報した。              |
|                     | ⑥ 市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数 | 86,300冊    | 94,615冊<br>( 110%)              | AA   | 市町村立図書館等相互協力担当者会議や運営相談の際に県内図書館横断検索システムや図書館ネットワークの広報に努めた。  |
|                     | ⑦ 研修会の参加者数          | 600人       | 656人<br>( 109%)                 | AA   | ①3館で情報を共有し、実践的で効果的な研修を実施した。<br>②研修時のアンケート結果や先進事例を検討し、ニーズに合った研修を実施した。  |
|                     | ⑧ 研修会の講師件数          | 25件        | 27件<br>( 108%)                  | AA   | 職員が研修会の講師を積極的に務めることにより、職員のもつ知識を高め、併せて研修会の内容の充実を図った。   |

| 区分                      | サービス評価指標 | 平成24年度達成目標                     | 平成24年度達成状況 | 自己評価                  | 摘要 |  |
|-------------------------|----------|--------------------------------|------------|-----------------------|----|--|
| 2 未来を担う子どもの読書活動の推進      | ⑨        | 児童書の資料貸出冊数                     | 36,000冊    | 37,661冊<br>( 105%)    | AA | ①図書館と学校との連携を推進し、学校への資料貸出しを積極的に推進した。<br>②市町村立図書館への資料援助により、貸出しの増加に努めた。<br>③公民館図書室等図書館のない自治体への資料援助を積極的に推進した。  |
|                         | ⑩        | 児童サービス研修会の開催回数                 | 6回         | 6回<br>( 100%)         | AA | ①児童サービスの基本について、県内図書館員を対象に研修を実施した。<br>②読み聞かせボランティアの育成に努めた。  |
|                         | ⑪        | 県立学校等への資料貸出冊数                  | 13,400 冊   | 13,555 冊<br>( 101%)   | AA | ①学校図書館関係の教職員が集う研修会、会議等を通じてPRに努めた。<br>②県立学校に対する運営相談等を通じて支援や連携の強化に努めた。   |
|                         | ⑫        | 教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数       | 12回        | 13回<br>( 108%)        | AA | ①教職員の会議・集会等で、県立図書館が職員を講師派遣することを周知するよう努めた。<br>②職員の資質向上を図り、講師が務められる職員を養成した。  |
| 3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及 | ⑬        | 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例提供件数 | 65件        | 69件<br>( 106%)        | AA | レファレンス事例をデータ化し、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの提供に努めた。  |
|                         | ⑭        | 調べ方案内(パスファインダー)の作成件数           | 12件        | 18件<br>( 150%)        | AA | テーマ別にパスファインダーを作成・改訂し、レファレンスの効率化や活性化を図った。   |
|                         | ⑮        | 録音図書貸出タイトル数                    | 10,000タイトル | 10,280タイトル<br>( 103%) | AA | ①録音図書のデータを全国のネットワークに提供し、利用促進に努めた。<br>②県民向けの講座の開催やホームページでの広報を充実させ、録音図書の利用促進を図るとともに、県民が障害者サービスへの理解を深めることに努めた。                                      |
|                         | ⑯        | 図書館ボランティアの育成者数                 | 280人       | 230人<br>( 82%)        | B  | ①音訳者に必要な知識や技能の向上を図るとともに、養成講座を開催しボランティアの育成に努めた。<br>②「子どもの本の読み聞かせ講座」を実施し、ボランティアの育成に努めた。<br>③「音訳者養成講座」を前年度より高度な内容としたため、参加人数は減少したもののボランティアの資質向上は図れた。 |
| 4 千葉県に関する資料の蓄積、継承       | ⑰        | 千葉県関係データベース入力件数                | 6,300 件    | 6,070 件<br>( 96%)     | A  | 千葉県関係のデータベースのデータの蓄積に努めるとともに、内容の精度を高め、充実を図った。   |
|                         | ⑱        | 千葉県関係レファレンス件数                  | 1,500 件    | 1,563 件<br>( 104%)    | AA | 中央図書館千葉県資料室の豊富な資料を利用して、千葉県関係資料に関する調査回答の一層の向上に努めた。  |
| 5 社会の変化に対応した図書館の推進      | ⑲        | 来館者満足度                         | 70%以上      | 74.3%<br>( 106%)      | AA | ①接遇などの利用者対応に留意し、利用者気持ちよく利用してもらえるようにサービス向上に努めた。<br>②研修等により、職員のスキルアップに努め、質の高いサービスの提供に努めた。  |

| ランク | 評価内容           | 評価の目安       |
|-----|----------------|-------------|
| AA  | 目標以上達成         | 100%以上      |
| A   | 目標をほぼ達成        | 90%以上100%未満 |
| B   | 一定の成果はあったが未達成  | 70%以上90%未満  |
| C   | 目標を未達成のため改善を要す | 70%未満       |